

令和6年度 新居関所史料館運営委員会

－ 視察メモ －

日 時 令和6年12月6日（金）
12時30分～15時00分
会 場 二川宿本陣資料館

○出席者

委 員	■ 渡辺 和敏	
	○ 牧野 茂	
	平野 克典	
	後藤 建一	
	片山 愛司	
	小林 浩二	
事務局	白井 保司	湖西市産業部文化観光課 課長
	鈴木 紀子	湖西市産業部文化観光課 文化係長
	岡本 聡	湖西市産業部文化観光課 主任

■：委員長 ○：副委員長 傍聴人：0名

- ・二川本陣資料館施設リニューアル見学 対応：増山学芸員
- ・今回展示はリニューアルしていない。空調やトイレ洋式化、蛍光灯をLED照明にするなどの長寿命化計画にもとづき大規模施設改修を行った。
- ・H3開館。H16常設展リニューアル。R6の休館期間は10か月。その間、資料は豊橋美博が改修して収蔵庫に余裕があり、そちらで保管。備品類は本陣内で保管。
- ・入館者数はH16にリニューアルに合わせ休館したため、減っている。現在は、2万人前後。減少気味。入館者数が多いときは、人気のある展覧会のとき。
- ・職員体制は学芸員4人・事務職員1人
- ・本陣資料館は直営。本陣・駒屋はNPOに委託して管理（戸の開け閉め・イベント（お化け屋敷）は直営、ひなまつりはNPOも手伝う）。ボランティア団体はない。
- ・展示パネル製作は京都科学であったが、会社はなくなったため修繕に困っている。
- ・東海道には舞坂-新居-二川-豊川に交通系資料館があり、東海道を歩くのに適している。
- ・収蔵庫は3つある。収蔵するのは本陣に関するもののみ収集。あとは美博が収集。
- ・人気がある講座は、手を動かす体験講座（土雛に色づけ体験）
- ・東海道を歩く人は、だいたい入館するが、さわやかウォークなどハイキング目的の人は入館しない。来場者は市内周辺が多い（名古屋～静岡間）。
- ・入館者内訳はリピーターが多いアンケート結果。常設展の満足度は高い。
- ・本陣は街道側の半分程度の建物部分が破損していたため、建造物ではなく市史跡指定。旅籠屋は登録有形建造物。

・関所運営委員会意見

（委員長）ブックレットの編集会議を開催してほしい

ターゲットや何冊だすのか、など方向性を検討する。

碓井関所は来年度関所サミットを開催する。

（委員）関所の受付にはラミネートなどいろいろなデザインが雑多にあるが、統一したデザインが良いと思う。また学校の児童は1人1台タブレットを持っているので、調べ学習やQRコードなどを活用してタブレット学習ができるようになるとうい。

（委員）二川の版画刷り体験はお土産になってよい。（以上）